

# 明日の大地

北海道新篠津高等養護学校

学校だより

平成30年度 第4号 12月20日発行

Tel 0126-58-3280

HP <http://www.shinko.hokkaido-c.ed.jp>

## 進路指導部から

進路指導部長 西島 智子

夏休みを挟んで事前訪問から始まった各学年の現場実習が、新篠津村はじめ近隣地域の事業所の御協力を得て今年も無事に終了することができましたことに感謝いたします。併せて、今年は台風や地震による非常事態が続き、特に1年生の現場実習では、期間延期や短縮、急遽予定していた実習先の見直しをするなど、依頼していた事業所側には御理解をいただきましたこと大変感謝いたします。また、災害被害から完全復興されない中、保護者の皆様からも生徒たちの気持ちが折れないように日々励ましなどいただきありがとうございました。

さて、3年生の進路決定も大詰めとなってきました。卒業は社会人になるためのスタートであり、残された学生生活の過ごし方が、自立して働く社会人としての最終基盤を作ることになります。また、卒業生たちの課題から「生活（リズム）の乱れ」「悩みを一人で抱え込んでいる」こと等があります。小さな課題の蓄積がきっかけとなり、進路先でトラブルになることも少なくありません。新生活を迎える時期は保護者共々大変ではありますが、学生から社会人への自覚や自信につなげられるよう応援をお願いいたします。1・2年生につきましては、冬休み明けに進路希望調査の提出があります。休み中外出も多いと思います。お子さんと一緒に外で働く人たちを意識して観察し、話題にするのも良いのではないのでしょうか。

在校生、卒業生共に、進路決定と社会人生活を支えていくために、今後とも保護者、地域と協力体制をもちながら進めていきたいと思っております。

## 現場実習

### \* 第1学年 \*

進路指導部 石川 卓哉

1学年の現場実習は当初9月上旬の6日間日程で予定していましたが、実習開始日未明に発生した北海道胆振東部地震により実習ができない状態になりました。しかし、関係事業所に御配慮いただき、10月16から18日の3日間に短縮し実習を終えることができました。感謝いたします。

満足のいく実習ができた生徒、そうではなかった生徒もいますが、上手くいくことだけが成功ではありません。1学年の実習の目標は「働くために必要な力を知る」「自分の力を知る」「自分の進路を知る」です。今回の実習でこれらの〈知る〉をどれだけ見つけることができたかが、進路学習の深化につながります。



### \* 第2学年 \*

進路指導部 富山 聖子

2学年は9月25日～10月5日まで、単独実習と引率実習に分かれて行いました。今回の実習では、昨年よりも自分の課題や目標を意識している様子が見られ、特に「明るく元気な挨拶」を心がけた生徒が多くいました。「仕事を覚え、できることが増えていくことの楽しさを実感できたこと」「通勤や職場での時間の過ごし方、効率よく正確に作業を行う意識、相談の仕方、心身の健康を保つこと」「物事をやり遂げることの重要性」など多くことを学ぶことができました。実習後それぞれが自分の進路について真剣に考える様子が見られてきています。保護者の皆様、たくさんの御協力ありがとうございました。



## \* 第3学年 \*

進路指導部 佐藤 治 人

### 全力で成功させました！！

今回の実習は、卒業後に希望する事業所での就労を前提とした実習でした。台風と地震によって予期せぬ対応が必要なスタートでしたが、本人達は緊張と不安の中で十分に力を発揮し、やりきった充実した表情で学校に戻ってきました。これは、本人はもちろんのこと保護者や事業所の皆様の励ましや、1・2年生の時に行った新篠津村内外での体験実習が大きな力となっていると思います。

残りわずかな新篠津の生活をより充実させ、社会自立のいいスタートになるよう、今後とも皆様方の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

来春卒業を迎える3年生は、それぞれが卒業後に希望する企業や福祉事業所での就労を前提とした実習を行いました。本人達は、緊張と不安の中でそれぞれが力を出し切り、元気に学校に戻ってきました。保護者の皆様からの励ましや、1・2年生のとき、実習で新篠津村の皆さんから教わったことがとても大きな力になったことと思います。

卒業まで約3ヶ月程となりましたが、残りの生活が社会への良きステップになるよう、今後とも皆様の御支援と御協力をよろしくお願いいたします。



## 新高祭 学年発表

### 1 学 年

担当 坂下 佳 恵

「思いやりの心をもち、助け合って生きていこう！」

1年生は、「HSN」～(温かい)ハート、支え合う、(困難を)乗り越える～をテーマに、劇「人間になりたがった猫」に取り組みました。一番の成果は、生徒達から「もっと良いものにしたい」「こうしたら良いのではないか」という声が挙がり、47名全員が心を一つにして取り組むことができたことだと思います。また、練習では友達の長所を認め合ったり、助け合って意欲的に取り組んだりする生徒達の姿がありました。これからも、劇のテーマ「思いやりの心をもち、助け合って生きていこう！」を大切にして、目標に向かって団結できる学年になってほしいと願っています。



### 2 学 年

担当 中山 飛 鳥

「オレ、この学校で青春なんてできると思ってないから。」

「何言ってるんだよ！僕たちが高2で、今ここにいる、それ自体が青春なんだよ。」

劇中の台詞の一部ですが、これは実際の2学年の生徒の言葉です。青春なんてできないと思うのも、青春満喫派も、どちらも青春。高校生の日々の生活は楽しいことばかりではなく、地道な一步一步の積み重ねですが、そこには青春があふれています。そんな39人の姿を少しでも感じて頂きたくて、この舞台が完成しました。一人一人、劇を完成させようと本当に一生懸命練習しました。声の大きさ、アドリブ、動きなどは生徒同士で相談しながら工夫をしました。そこには39人で日々を積み重ねてきたからこそ培われた協力や信頼感が感じられました。2学年39人はこれからも今しかない特別な青春という時間を仲間と過ごし、その中でかけがえないものと出会い続け成長していきます。



# 3 学 年

担当 山 田 勇 気

1年生の時から合唱が上手で、昼休みに歌声が聞こえてくる学年でした。この歌声を新高祭で響かせたいという思いから、「天使にラブソングを2」の名曲「OH HAPPY DAY」を基本にして、発表をしました。それぞれのキャラクターを生かしながら、セリフがないところでも与えられた役になりきって、しっかり演じていたところからもステージで演じることを楽しんでた姿が伝わったのではないのでしょうか。卒業後にふと辛くなった時、この「OH HAPPY DAY」で一つになった瞬間を思い出していただけることを願っています。



## 学校評議員会

教頭 松 岡 達 也



11月22日に第2回の学校評議員会が行われました。今回はアビリンピックや陸上、演劇部の活躍の様子や現場実習、同窓会、進路状況等について説明をしました。進路支援については施設経営者の立場から今と昔の保護者の相違についても話題となり、貴重なアドバイスをいただきました。後半は生徒会や舎友会の役員生徒と評議員の方々との懇談が行われ、「この学校が良くなるためには？」の質問に対して「部活を活発に」「当たり前のことを当たり前にする」「もっとコミュニケーションをとる」などの意見が出され、評議員の方からは「立派」とのお褒めの言葉をいただきました。

本校評議委員の、今田義春氏がこのたび旭日単光章を授与されました。おめでとうございます。

次回は2月を予定しています。

## 全国障害者スポーツ大会

担当 成 松 智 也

去る10月13日から15日まで福井県下で開催され、本校陸上競技部から北海道代表として吉田直斗選手、札幌市代表として渡邊勇心選手、サッカー部から札幌市代表として立田智也選手が参加しました。陸上競技において吉田選手が200m走で銅メダルを、渡邊勇心選手が1500mで銀メダルを獲得、サッカー競技においては札幌市が全国準優勝を収め、銀メダルを獲得しました。努力で夢をかなえた3選手に心から敬意を表します。



## 新篠津卓球連盟会長杯卓球大会

担当 和 佐 えりか



第25回新篠津卓球連盟会長杯争奪卓球大会に6名の生徒が参加しました。初めての大会の生徒もいましたが、試合の始まりと終わりには、しっかりと挨拶をして試合に取り組むことができました。今回の大会を通し、楽しむことや自分の力を出すことはもちろんですが仲間の大切さや、支えてくれる保護者への感謝を伝える機会になればと思います大会に参加しました。

今後も一緒に頑張れる仲間の大切さや支えてくれる周りの人への感謝を感じながら日々練習に取り組んでいければと思います。

## 演劇部全道大会

担当 山田 勇氣

11月16日から19日に行われた全道高等学校演劇大会に出場しました。新高祭と日程が重なる大変な状況ではありましたが、部員たちは自分の役と真摯に向き合い、観客と一つになることができました。結果は優秀賞、残念ながら春季全国大会推薦校には選ばれませんでした。最優秀賞に次ぐ賞を受賞できたことは大変な自信にすることができました。御観劇いただいた皆様、応援いただいた皆様、ありがとうございました。



## 図書室より

担当 松本 真紀江

忙しい日課の中のオアシス、昼休み。12月6日(木)の昼休みは「図書委員による読み聞かせ」。『やこうれっしゃ』、この絵本は文が一切ありません。図書委員長である窯業科2年の鈴木大将さんがストーリーを考え、図書委員全員で読みきかせをしました。また、13日(木)は、ボランティア「ぼこあぼこ」による読みきかせ。山形県最上地方や庄内の一部で語られる民話を元にした絵本『びんぼうがみとふくのかみ』でした。

普段、関わるのが少なくなった絵本の世界で「ほっ」とできるオアシスタイムの昼休みでした。

## P T A 顕彰式について

担当 香城 望

9月8日(土)第18回合同大会(後志大会)において、長年のP T A活動の功労を表彰することを目的とした顕彰式に、前P T A会長の小出所様が参加する予定でしたが、今年度は地震のため、中止となりました。

その後、表彰状が学校に届き、過日、学校祭の見学に訪れた小出所様への顕彰式を行うことができました。

本校のP T A活動に多大に御尽力いただきました小出所様に、この場を借りて、改めまして感謝申し上げます。



## 《編集後記》

『師走』という言葉を聞いただけで、なぜか気ぜわしさを感じてしまいますが、今年も残すところ10日余り...

年々1年があっという間に過ぎていくと感ずります。クリスマスにお正月、心に余裕をもち季節の行事を楽しんで過ごしたいものです。

来年も素晴らしい1年になりますよう皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。

